



# M.M.Honcho Newsletter

【7月号】令和8年6月30日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



## 「みらい」へつなぐ「笑顔」と「しゃぼんだま」

校長 大井 慶亮

先日、子どもたちが楽しみにしていたプール開きを行いました。しかし、梅雨の影響で天候が安定せず、思うように実施できない日もあります。子どもたちは天気予報を気にしながら、「今日は入れるかな」と期待を膨らませ、日々を過ごしています。

さて、先月は子どもたちが自分自身と他者、そして社会や世界とのつながりについて深く考える、二つの大きな行事がありました。

### ＜身近な一歩から世界を変える

#### ～国際平和スピーチコンテスト～

6月4日、校内国際平和スピーチコンテストを開催いたしました。横浜市の小中学校では、1986年からスタートした「よこはま子ども国際平和プログラム」を通じ、グローバル人材の育成に長く取り組んでいます。本校の子どもたち5・6年生も、国際平和のために自分ができることを考え、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の17の視点に関連付けながら自分の思いを文章に表し、各学級でスピーチに取り組みました。そして、学級代表に選ばれた計6名の子どもたちが、体育館で4・5・6年生に向けたスピーチを行いました。

6月22日には、校内代表に選ばれた6年生児童が中区の大会に出場し、「世界を照らす魔法の力」のタイトルで、「笑顔」をテーマに堂々とスピーチを行いました。「国際平和」と聞くと、どこか遠い世界の出来事のように思えるかもしれませんが。しかし代表の児童は、私たちの身近な生活の中にある「笑顔」を大切にすること、そしてその笑顔の輪を広げていくことこそが、世界平和への第一歩であると力強く訴えました。

この「身近なところから取り組み、広げていく」という姿勢は、SDGsの取組を通して本校が大切にしているものの一つです。「みらい」の国際社会を生きる子どもたち一人ひとりが、この学びをこれからの行動にどうつな

げていくか、今後の成長が楽しみです。

### ＜自分も相手も大切に

#### ～ココカラないろ会議（学校保健委員会）～

6月5日には、こころとからだの健康について多面的に考える学校保健委員会「ココカラないろ会議」を開催しました。当日は、保健委員会や各委員会の代表児童をはじめ、教職員、保護者の皆様が参加し、スクールカウンセラーからは動画メッセージをいただきました。

今年度のテーマは、「自分らしさ・相手らしさも大切に」～まもりあおう 一人ひとりのしゃぼんだま わらないために、できること～です。私たちは今年度、こころとからだの「境界線（バウンダリー）」を「しゃぼんだま」に例え、お互いの「同意」をキーワードにした取組を進めています。会議では、「しゃぼんだまが割れそうなときはどんなときか」「そのときはどんな気持ちになるか」「自分ならどうするか」といった具体的な場面について、活発な意見交換が行われました。

今後は、しゃぼんだまを互いに守り合えるような関わり方のヒントを、各委員会が動画にして順番に発表していく予定です。「自分を大切にすること」「相手を大切にすること」は表裏一体です。一人ひとりが安心して、自分らしく過ごせる温かい学校を、みんなでつくっていきたいと考えています。ご家庭でもぜひ話題にしてみてください。

自分の身近な人の「笑顔」を守ること。そして、相手の「しゃぼんだま（境界線）」を尊重すること。この二つは、どちらも「他者を思いやる心」から始まります。

本校の子どもたちが、身近な友達との関わりの中でこの心を育み、やがてそれを世界へと広げていく。そんな、誰もが自分らしく輝ける「みらい」を目指し、教職員一同、日々の教育活動に励んでまいります。今月もどうぞよろしくお願いいたします。